

京都芸術大学 公開講座

伝統文化論

～歌舞伎から取り出す創作のヒケツ～

- 第1回 9月27日 ▶ 虚と実のはざま ～浄瑠璃、歌舞伎からジブリまで～
- 第2回 10月4日 ▶ 役者という偶像アイドル ～正しい「推し」の作り方お
- 第3回 10月11日 ▶ 二代目市川団十郎 ～カブキ・クリエイター列伝～
- 第4回 10月18日 ▶ 江戸の劇作術① ～すべては「世界」でできている～
- 第5回 10月25日 ▶ 江戸の劇作術② ～「趣向」と「仕組み」がいのち～
- 第6回 11月1日 ▶ 『勸進帳』～伝統芸能の可能性～
- 第7回 11月8日 ▶ 木ノ下歌舞伎の挑戦 ～結びにかえて～

講師 木ノ下裕一（木ノ下歌舞伎主宰）

聞き手 田口章子（京都芸術大学教授）

2022年後期 全7回

9月27日(火)～11月8日(火)

時間 ▶ 毎回火曜 13:30～14:50（開場 13:00）

会場 ▶ 京都芸術大学（京都市左京区北白川瓜生山 2-116）
人間館 2F NA208 教室

受講料 ▶ 1万円（全7回）

※一般受講定員 50名予定（先着順）

受講資格

学習意欲のある方なら、どなたでも受講いただけます。

※この講座は、舞台芸術研究センターのコーディネートによって、
本学の授業を一般公開するものです。

講義概要

木ノ下歌舞伎主宰の木ノ下裕一氏を講師に迎え、歌舞伎研究者の田口章子が聞き手となり、舞台芸術、絵画、造形、文章表現など全ての創作に生かすことのできる「創作」の秘訣を学ぶ。

江戸から近代にかけて、約300年間、〈最先端の演劇〉であり続けた歌舞伎。その歴史を辿ると、時代を彩ったクリエイターたち（役者、作者、興行師など）の、飽くなき挑戦の足跡が見えてきます。彼らが編み出し、培い、伝承してきた創作の秘訣の数々を、毎講座、丁寧に取り出し、深めていきます。それらは、舞台芸術に限らず、絵画、造形、文章表現など全ての創作に生かすことのできる智慧であると同時に、よき観客（批評家・鑑賞者）となるための手引きとなってくれることでしょう。

先人の智慧に学ぶところから、創作ははじまります。新たな表現、より深い鑑賞眼を手に入れたい方にとってよい刺激となる講義を目指します。

（木ノ下裕一）

お申込方法 オンラインチケットストア、郵便振替またはチケットセンター窓口にてお申込み下さい。

▶ 郵便振替から

郵便局に備付の郵便振込用紙にて、下記振込先に受講料をお振込みください。（手数料は各自ご負担いただきます）

【口座番号】00970-7-176517

【加入者名】京都芸術劇場

通信欄：① 2022年度伝統文化論

② お名前（フリガナ）

③ 案内不要（講座・公演の案内送付不要の場合のみ）

ご依頼人様欄：ご住所・お名前・電話番号を必ずご記入ください。

※インターネット・郵便振替ともに、ご入金確認後、受講証を郵送いたします。初回受講日の10日前までを目安にお申込みください。受講証はお申込み者様のお名前で作成いたします。お一人様一件ずつお申込みください。

※郵便振替、チケットセンター窓口にてお申込みの方は、先着順締め切りのため、事前に電話にてお問い合わせください。

お問合せ

京都芸術劇場チケットセンター TEL.075-791-8240（電話・窓口／平日10-17時）
京都市左京区北白川瓜生山 2-116 京都芸術大学内